



題字 冬と歩けば春となり 揮毫 今治市桜井中教諭 河野ゆかり 解説は3面



発行所 (財)愛媛県教育会 〒790-8545 松山市祝谷町1丁目5-33 エスポワール愛媛文教会館内 電話 (089)945-8644 FAX (089)945-1459 URL http://www.ehime-kyouiku.kai.jp

### 「家庭菜園」に学ぶ



元 愛媛県教育研究協議会副会長 河野 寛一

- (2) 学校紹介 愛大附属特別支援学校
- (3) 支部だより 伊予支部 ローカルトピックス
- (4) (5) 特集「私の健康法」
- (6) (7) 特集「初任者の声」
- (8) ふるさとスケッチ

「少しですが大根食べてください。無農薬なので、虫食いで器量は悪いですよ。」「すみません、いつも美味しい野菜をありがとうございます。」

わあ、この大根、葉っぱ付きやね。つけものにしたりのめしにしたりすると美味しいんですよ。ありがとうございます。」

私の近所には野菜作りを中断しなければならなくなった家が五軒あります。五年前まではJAが紹介してくれた菜園が住宅内にあり、一〇坪ほどの土地に四季折々の野菜を作り、近所の社交場でしたが、そこにアパートが建ち、野菜作りができなくなりました。アパートが建ったことは、野

菜作りだけでなく、苗や種子、収穫物の交換等々、言葉には言い尽くせない心の触れ合いがなくなりました。

私は菜園欲しさに一四kmほど離れた妻の実家（現在空き家になり、田畑・山林等は親戚の管理化にある）へ畑を求めました。田畑の管理をしてくれている親戚は「ときねえ（妻の愛称）、どこの畑いるが、どこでもいいけどここがいいことないかな。駐車場もあるし水道も近いし。」と今まで耕作していた所を惜しげもなく返してくれた上、堆肥の世話から病虫害や種蒔きのことなど、素人の私にいろいろと支援や助言をしてくれます。

しかし、ここは遠距離のため、栽培している農作物をこまめに世話することがむずかしく、水不足になったり病虫害防除等が遅れたりして困ります。でも、農業の楽しみは収穫です。妻のリクレストに応えて二〇種類以上ほど栽培していますが、とれた野菜を近所におすそ分けするのも楽しいものです。直売所で買えばとても安いのに「無農薬だからとても嬉しい。」と喜ばれると、また食べてほしいと単純に思う私です。

家庭菜園を通して感じるのと、農業は「教育活動に通じる」ように思っています。作物（児童生徒）の生きる力を引き出すように環境を整え、よく観察し、植物が求めていることを施せばよくできるようです。そして「来年も良い物を作るぞ。」と闘志を燃やす毎日です。

- 一略 歴一 (ここの・かんいち)
- 昭和35 愛媛大学教育学部二年課程修了
  - 昭和46 玉川大学文学部卒業
  - 平成5 西宇和郡瀬戸町立塩成小学校長
  - 平成7 西宇和郡伊方町立水ヶ浦小学校長
  - 平成9 西宇和郡保内町立川之石小学校長
  - 平成12 退職
  - 平成17 保内町教育委員会社会教育指導員
  - 平成21 八幡浜市文化会館館長兼図書館長退職
- 愛媛県教育会八幡浜支部長

### 響き 国際化の動きが拡大している

海外では日本食レストランが次々とオープンし、日本食の国際化の動きが拡大している▼一方、わが国では、食文化の多様化によって日本の食文化は危機的な状況にあるという▼さらに、東京電力福島第一原発事故の影響で、食品の放射性物質検査を求める声が高まるなど、わが国の食に対する安全が揺らいでいる▼日本食の価値の回復・向上を図るため、農林水産省では日本の食文化の特徴として「米飯を中心とした栄養バランスに優れた食事であること」「だしのうま味や日本酒をはじめとする多様な発酵食品を活用していること」「正月などの行事や儀式と結びついていること」などを挙げ、世界無形遺産登録に向けた取り組みをしている

▼味覚に敏感な子どもは、自然食品や旬の食材を好み、食べ物に関心が高いそうだ▼今こそ、子どもたちに、甘味、塩味、酸味、苦味、うま味を実体験させ、感性を磨くことが大切だ。

ひとこと

私の楽しみな時間



愛媛県教育会 監事 柳川 五郎

私には今、楽しみなひとことがあります。西条市の中国語講座です。といっても仕事の関係で月二回の講座の半分ほどしか行けていない状況ですが。

張先生のこの教室の生徒は、若い方から七十代までの二十人ほどです。自分や家族の仕事の関係で中国と関わりをもっている方が多く、先生の毎回の時節に関する冒頭のスピーチにうなずきながら聞く方が多いのに驚いてしまいます。中国語の命は発音と言われますが、生徒の中にはテキストを見事な発音でよどみなく音読したり、微妙な表現の違いを質問して先生を度々驚かせたりする先輩方が何人もいます。私には何のことやらちんぷんかんぷんです。そ

の中のお一人に「どうしてそんなにおできになるのですか。」と伺ったら、その答えが何ともすてきではありませんか。「私は二十四時間勉強してるのよ。」とにっこり。分厚い中日辞典は手垢でぼろぼろなのです。

私の席は最も敬愛するおじいちゃんのすぐ後ろと決めています。そのおじいちゃんは、いつも予習を欠かさないで英文ならぬ自作の中作文を抱えてくる最優等生なのです。現在韓国語の講座も併行して受けておられ、定年直後からこれまで十数カ国語を独学で勉強してこられたとか。お宅に遊びに行つて長年重ねてこられた学習ノートの山に脱帽しました。

私には、このような様々な年齢の先輩方と机を並べる九十分がすごく新鮮です。この方々の、自分の歳を意識せずに向上年心をもって学び悠々と日々を楽しむ姿に、前に進む若さというものを教えられているように思うのです。

(西条市立壬生川小学校長)

学校紹介

No.126

愛媛大学教育学部附属特別支援学校

創立四十周年を迎えた学校

今年度本校は、知的障害を対象とする養護学校として創立以来四十年目を迎えた。場所は、附属幼稚園、小学校、中学校と同じ持田地区にあるが、これは全国の附属学校の中でも大変珍しい。この場所に設置されることになった経緯を二代副校長峯本高義様に聞くことができた。

今年度本校は、知的障害部二十八名、中学部十八名、高等部二十五名)である。知的障害だけでなく、自閉症の障害特性を併せもつ児童生徒が半数近くいる。教育学部と連携した研究、教育実習、介護等体験を行っている。また、立地条件を生かして、持田地区にある他の附属学校園と交流及び共同学習を行ったり、共同研究を行ったりしている。

最後に、本校は特別支援教育のセンター的役割を果たすために教育相談等を積極的にを行っているので、是非ご活用いただきたい。

(副校長 烏谷真由美)

「私たち障害児教育関係者や保護者は、公共の交通機関が利用しやすく、附属学校園の一員として、障害のない子どもと同一のキャンパスで教育を行うことにこそ意義があるのだという強い信念のもとに、現在地への養護学校の校舎建築を要望してきた。その一念が通じ、昭和四十七年四月一日付をもって、附属養護学校は正式に許可されることになった。」

多くの方の努力によってスタートした本校は、現在、全校児童生徒六十一名(小学部

月、愛媛大学経営企画部人事課に環境整備室が新たに設置され、本校卒業生による環境整備チーム「愛Clean」がスタートしたことである。今年度は農学部「愛Agri」が新たにスタートした。現在十名の卒業生が愛媛大学に雇用され、自分の力を一〇〇%発揮しながら講義室の清掃などの環境整備の仕事に頑張っている。



この研究の一環として特筆すべき取組は、平成二十一年四

で、是非ご参加いただきたい。

題字に寄せて

ふゆ ある はる  
冬と歩けば春となり



今治市桜井中  
教諭 河野ゆかり

筆を持つことに慣れてはきたものの、楽しむには未だ至らず。楽しみへの入り口に立てたのは、石彫家・馬越正八さんの「書いてみたら？」の一言があったからだと思う。

正八さんの工房で、ある言葉と出会う。

「冬と歩いて春にたどり着く」冬と一緒に自分も行動していなければ、春が来たことに気づかないよねえ、という一言と優しい微笑がそのときの記憶である。

この便りが届く頃は、いろいろな春が訪れる頃でしょう。春は、ゴールではなく、始まりである。そんな思いを込めて……  
「冬と歩けば春となり」

支部だより

「伊予支部」

研修旅行



伊予支部  
OB 坂井喜多夫

「これだけは、楽しみにしとったんよ。〇〇さん元気でしたか。久しぶりー。」

毎年十一月初旬の土曜日に行われる、現職・OBの一日研修旅行、早朝の会話である。今年も、姫路市にある太陽公園（白鳥城を中心に石の文化と歴史、新しい福祉を創造する目的で造られ、障害者自ら運営している。）と、天空の白鷺城（国宝・世界遺産姫路城）の大天守修理の様子を見学することになった。

参加者は、年齢層も幅広く、また、現職の皆さんも例年になく大勢であった。誰もが、気軽に語り、笑い、終日和気藹々で交流を深め、絆を強めることができた。



姫路城大天守修理の見学（エレベーターで上る）

バスを降りる頃には、もういらぬ、と言いつつ買ったお土産を抱えて「来年も参加するけん。行く場所は何処でもええけん。行つたらいかんのは、あの世だけぜ。」と、拍手と握手で別れた。  
このような伊予支部の研修旅行は、昭和五十八年から続いている。当初から約十年間は、泊付きの温泉巡りが中心であった。やがて交通事情が好転するにつれて日帰りの旅となった。退公連と共催しているためか、毎年大勢の参加者で賑わっている。伊予支部の連帯感の高揚や活力の源の一つになっていると思われる。

ローカルトピックス

「庚申庵」によせて

庚申庵は、江戸時代の松山の俳人栗田樗堂が俳諧に専念するために五十二歳のときに建てられた草庵ですが、二百年余という年月を経て存続の危機にさらされ、平成十二年に松山市が調査修復して現在に至っています。場所は味酒町二丁目、フジグランの東にあります。

さて、この庚申庵を拠点として、味酒公民館の協力を得て味酒・清水・新玉小の子どもたちを対象に「庚申庵伝統文化こども教室」を十年前に開設し、六年間実施しました。次に「味酒野こども俳句教室」を三年間、今年から「味酒野伝統文化こども教室」を開き、活動内容は松山にゆかりのある俳人、俳句の作り方、吟行、和菓子づくり、生け花・お茶、音楽体験、街探検、俳句かるたづくりなどで、子どもたちは大変喜び楽しんで活動しています。  
講師として大学の先生方、和菓子屋さん、お茶・お花の先生、教員退職者等を迎え、講師の先生のボランティアに



庚申庵の庭にある笹を取り、池で笹舟競争をする子どもたち

感謝しています。

文教月報編集協力委員  
松山支部 OB 矢野 肇

ステージは3段階!

いよぎんポイントサービス

ポイントサービスとは?  
お取引の引きに応じておトクな特典がついてくるサービスです。

お気軽にwebで申し込み24時間OK!

ATM時間外 出金手数料 0円!

伊予銀行

0120-64-1414

www.iyobank.co.jp

（平成23年6月1日現在）

# 特集 私の健康法

## 体動と声動



四国中央支部  
OB  
曾我部俊男

現職の若い頃は野外活動を好み、夏休みを利用してテントを持ってよくバイクで旅に出ました。海外旅行は退職してからと考え、子どもの頃の印象に残っているピラミッドやエベレストなどを見に行ければいいのにと考えていました。

退職して少しでも早いうちに、体力を要すると思われる地域のシルクロードやヒマラヤ、チベットなど秘境を優先して海外旅行を実行したところ、問題（一部高山病あり）なく旅行の目的が達成できました。

たためと思います。年一回以上の山登り、冬は五回以上スキーに出かけること、また日常生活の中ではジョギングを週五回、自転車を多く利用することを行動目標としました。家庭生活では、菜園などの畑仕事や庭木の手入れなども進んでするようにしました。

動くことで筋力や体力アップを図ったため、目標の海外旅行が達成出来たものと思っています。また、マンネリ化した日常生活に変化を待たせ、体を動かすためにも積極的に町内行事に参加し、シルバークラブとなつての草刈り作業や埋蔵文化財の発掘作業など、体を使う仕事に従事しました。これは自分にとって体力維持に役立ち、大いに勉強になる有意義なものとなりました。

また、「詩吟をすると健康になる」と説得され、友人の誘いもあつて詩吟のサークルに入会し、七年目になります。確かに大会の参加者には元気な高齢者が多く、姿勢を正し大きな声で堂々と詠ずる姿に圧倒されます。大声で練習を重ねるうちに腹筋(腹式呼吸)力が増して自然と健康になるでしょう。大きな声で練習しているうちに多くの仲間と親しみ、楽しみながら吟ずることで人間関係が深まり広がっています。体を動かし声を出しつづても元気で健康第一、大勢の仲間と共に楽しい老後を送りたいものです。

### 自分の体は自分で守り鍛える



北宇和支部  
OB  
高田 宥

- 一 現職の間無欠勤。四つの幸が重なり健康が続いた。
- 1 健康な体に生み育ててくれた親。
- 2 バランスのとれた食事を作ってくれる妻。
- 3 定期検診を実施していた
- 4 大きく行政と病院。
- 5 体力つくりの継続。

以上四つの柱に支えられて

- 健康を維持している。
- 二 我が家は自然になるべく逆らわない生活をしている。
- 1 エアコン、ストーブは来客の時だけ。夏はガラス戸を全開し網戸、南側はグリーンカーテン。冬はコタツだけ。そのせいか暑さ寒さに抵抗力が付き、体力つくりの基礎となっている。
- 2 野菜は有機栽培無農薬。
- 三 定期健康診断
- 人間ドックで大腸ポリープ、地区診断で膀胱癌と診断されて手術。早期発見で命がらえている。
- 四 健康管理と努力
- 1 乾布まさつ・バット・木剣の素振りを五十数年百本。
- 2 見守り隊として毎日五キロメートルを歩いている。
- 3 ストレッチ体操朝夕五分。
- 4 大羽のいりこ毎食五匹。
- 5 クロッキー・ナイターフットを楽しんでいる。

「お早うございませす。」道場は、早く来られた若い方たちがきれいにお掃除してくださり、こぼれるような笑顔で迎えてくれます。まずこの笑顔が私に元気をくれます。ナビゲーターの先生の「自分なりでえんよ。」という言葉どおり、ゆるゆると体をほぐしていきます。数年前、この自力整体整食法に出会って、楽に暮らせるようになりました。肛門を閉め、丹田に力を入れ、背筋をまっすぐに立つ。深

### ゆるゆるほぐす生活習慣を改めるすべてに感謝



西条支部  
OB  
星加 昭子

度百十、体内年齢五十三歳。最後に食事と運動、定期診断で健康をチェックすることが必要と思う。「余談だが、酒・タバコは愛飲していない。」

### 石鎚登山



松山市北中 教諭 矢野 貴樹

い呼吸をして良い気をと入り、細胞を活性化させること、散歩をして筋肉を衰えさせないようにすること、等々、今までの悪い生活習慣を改めると気持ちがいいです。

健康には毎日の排泄が大切と思っておりますので、消化のよい物を腹八分目ということを守りよう努力しています。

整食法を怠ると、体調が悪くなるので、プチ断食をしたり、玄米食、お粥、自家製豆乳、生姜入りハーブティー等色々工夫します。

私のまわりには、尊敬する方が沢山います。お会いするだけで元気を頂きます。

すてきな方の共通点は笑顔・やさしい言葉・プラス思考です。

人との絆を深め、自然治癒力を高め、無理をしないでゆるゆると感謝して生きていきたいものです。

「食を制し、体をほぐし、愛の器を広げ、波動の高い存在をめざし、地球という学校を去る際は、爽やかな最後をしめくくりたい。」  
私の好きな言葉です。

上浮穴から松山市へ帰って二年、日々の忙しさに健康などという言葉からはほど遠い生活を送っています。

六年前、今は無き面河中学校へ赴任し、それまで生徒数六〇〇人以上の学校で勤務していた私にとって、生徒数一三名の学校は日々驚きの連続でした。

それまで不摂生の続く生活をしていた私は、赴任を機に心機一転、生徒と共に汗を流し、健康になることを誓いました。朝はかじかむ手に息を吹きかけながら、校門前を清掃し、昼には生徒と共にキャッチボールで汗を流す。

放課後は部活動に励み、生徒の下校後は校舎裏の除草作業を同僚の先生と行いました。そんな生活を半年続け、心身ともに健康になったと思っていたのですが、紅葉がピーク

を迎えようとしている頃に、面河中学校恒例の、石鎚登山遠足がありました。私は意気揚々と山頂目指し、出発しました。生徒のスピードは思いの外速く、息を切らせながら何とか山頂へ到着。しばしの

休息のあと下山することとなり、先頭の男子生徒と下山中、足がふくらはぎがつってしまいました。生徒には絶対苦しい顔は見せまいと苦しいのまま下山しました。その

出来事を機に、部活動生と日々三キロのランニングを行い、三年目は遠足や自由研究を含め、年五回の登山を行いました。

上浮穴での四年間で、改めて健康の大切さを実感しました。

### 朝の力



大洲支部 OB 一色 吉三

最近、文科省が子ども向け「早寝・早起き・朝ごはん」というキャッチフレーズ

を盛んに使用している。昔から早寝早起きが健康に良いことは言をまたない。

私は、幸いにも三十数年前から、朝早く起床して倫理の勉強をさせていただく会にご縁がある。れっきとした文科省認可の社会教育の社団法人である。宗教学法人や営利団体ではない。

朝四時起床、五時には開始のベルが鳴る。起床・洗面し、身なりを整えて会場に集う。

一年三六五日、休みはない。土曜も、日曜も、盆も、正月も関係ない。会場は毎朝開いている、朝の来ない日はない。また、同じ朝もない。

夏は朝の五時で、もうとつくに夜明けである。冬は会の終了の六時でもまだまだ夜明けは遠い。朝の風景は毎朝違う。偉大な自然の力を感じるひとときである。生きているのではなく、生かされていることを肌で感じる瞬間である。朝の冷気を胸いっぱい吸い込んで、「さあ、今日も元気で頑張ろう」と決意するひとときである。

四十過ぎから今日まで三十

年余り。「早寝・早起き・朝ごはん」の実践があればこそ、今の健康をいただいているのだと、痛感している。毎朝二十人、三十人と様々な職業の方が来られている。それらの方々と互いに語り合い、人の話を聞くことも健康の源になっていると感じる。これからも、朝の力に支えられて、一日一日を大切に生きていきたい。

## 積立年金制度

明治安田生命は、みなさまのよりよいコミュニケーションづくりに全力をつくしてまいります。

(制度引受幹事会社)

## 明治安田生命

四国公法人部 〒760-0017 高松市番町1-7-5  
法人営業部 TEL087-821-6811

# 特集 新任者の声

平成二十三年度新規採用教

職員は二二八人。公立小学校  
九五入、公立中学校五二人、  
県立学校（高等学校、中等教  
育学校、特別支援学校）八一  
人でした。職種別には、教諭  
が一七九人、養護教諭二〇人、  
栄養教諭九人、実習助手五人、  
事務職員一五人です。

不安や悩みを乗り越えて、  
素敵な教職員が希望を胸に力  
強く歩み始めています。

## 少し工夫を、さらに 工夫を、もつと工夫を



新居浜市高津小  
教諭 由貴 小山

私が新規採用教員として高  
津小学校に赴任してから、早  
くも一年が過ぎようとしてい  
ます。

今、改めてこの一年を振り  
返ってみると、試行錯誤で三  
歩進んで二歩下がるなりに成

長で来た日々でした。

初任者研修では、学級経営  
や授業についてなど多くのこ  
とを学ぶ機会をいただきました。  
初めは、研修で学校を離れ  
る度に、クラスの子どもたち  
や学校の先生方に迷惑をか  
けてしまうことを心苦しう感  
じていました。しかし、研修  
で学ぶことすべてが、子ども  
に還元できることであるとい  
うことに気がついたとき、「申し  
訳ない」ではなく「ありがたい  
」という気持ちで積極的に  
研修に取り組めるようにな  
りました。

子どもたちはとても素直  
で、こちらが工夫したらした  
だけよい反応を返してくれま  
す。目を輝かせてわかる喜び  
や楽しさを表現する子どもた  
ちの笑顔に出会う度、やりが  
いを感じ、もつと頑張りた  
い、もつと工夫できると思  
います。

初任者研修を始め、この一  
年間たくさんの方に残る言葉  
をいろいろな方からいただき

ましたが、中でもいつも心の  
中で唱えているのが「少し工  
夫を、さらに工夫を、もつと  
工夫を」という言葉です。こ  
の言葉を胸に、子どもの笑顔  
をもつとたくさん見るために  
前進していきたいです。

## さあ、ここからが 本番やでえ



三島市中央四国  
教諭 大岳 前谷

採用試験に合格し、「やつ  
と今後の見通しが持てる」と  
嬉しくなりました。講師のと  
きは多くのことがやりつ放し  
で終わり、子どもたちや部活  
動とも途中でお別れとなつて  
悔しい思いをしていたからで  
す。でも、これからは自分が  
納得するまで関わることで  
きます。新任校では、一年生  
の学級担任を任せていただき、  
初めて三年間を通じて関  
われるかもしれないという期  
待に包まれて、スタートを切  
りました。

しかし、授業と部活動で慌

ただしく日々が過ぎ、子ども  
たちとゆつくり話をする時間  
も取れず、焦る日々が続きま  
した。しっかりとやれていない  
気がする…と思いつつも日々  
でしたが、素直で元気な姿を見  
せてくれる生徒や、相談に  
乗ってくれた先生方、同  
じ悩みを抱えながらも頑張つ  
ている同期の先生方に支えら  
れ、何とかやってこられました。  
次は、私が支える番です。

私は、目前にいる生徒の十  
年後や二十年後を見据えて、  
どんな力を育んでいくべきか  
考えています。それぞれの長  
所を伸ばしつつ、さらに成長  
できるように導くことが使命  
だと思っております。これから  
いろいろ思案すると思います  
が、「さあ、ここからが本番  
やでえ」と自らを奮い立たせ、  
研究しながら前進しつつける  
教師でありたいと思います。

## 忘れられない経験



伊予郡中小  
教諭 将宏 森川

夏休みに、伊予地区の先生  
方と一緒に、宮城県山元町に  
復興支援ボランティアに行つ  
た。イチゴ農家の方を訪ね、  
畑に埋まったごみや汚泥を取  
り除いたり、雑草を刈り取つ  
たりした。

二班に分かれて、地元の  
小・中学校へも足を運んだ。  
海に近い学校では、体育館の  
床がめくれ上がっていたり、  
窓ガラスが割れていたり、見  
るも無残な姿になっていた。  
三月の凍える夜を、子どもた  
ちはどんな気持ちで過ごした  
のだろう。襲ってくる津波を  
どんな気持ちで見ているのだ  
ろう。そう考えると、こみ上  
げてくるものがあつた。

二学期が始まり、学級の子  
どもたちに、自分が見てきた  
もの、感じてきたものを伝え  
た。被災地には生きたくても  
生きられなかった人がいるこ  
と。家族を亡くした人がいる  
こと。君たちには、愛情いっ  
ぱいに育ててくれている家族  
がいるということ。いつも以  
上に真剣な表情で話を聞く子  
どもたちがそこにいた。「命は  
ひとつ」子どもたちとともに、

改めて考えることができた。時間がたつとともに、テレビや新聞で取り上げられることが減ってきているが、被災地の人々の生活が元通りになつたわけではない。これからも、「自分にできること」を実践していきたい。

### 日々の尊さ



中前町松前  
論教  
高脇 祐子

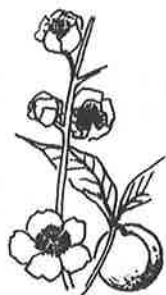
毎日の生活の中で思うことがある、それは、「日々勉強」である。今年度、新規採用されてからは特にこのことを意識するようになった。

私は今、一年生の副担任をしている。戸惑うことも多かったが、先生方をはじめ、多くの人に支えられて、一年が終わろうとしている。

そんな日々はまさに学びの連続である。生徒の鋭い一言に驚かされたり、自分の教材研究の浅さや指導力不足に気づかされたりした。どうしたら伝わるか、毎日考えるきつ

かけを生徒たちは作ってくれ。それと同時に、学校行事や部活動に必死で頑張る生徒の姿は、力を合わせて一生懸命に取り組むことの尊さを改めて教えてくれた。

また、先輩の先生方からも、毎日多くのことを学ばせていただいている。特に、生徒と真正面から向き合うことの大切さを教えていただいた。本校では、生徒と教師が笑顔で話をしている姿をよく見かける。それは、先生方の生徒に対する態度や言葉の一つ一つから、その思いが生徒に伝わるからだと思う。生徒たちへの接し方はまだまだ学ばなければならぬことが多い。



### 憧れの存在



小吉町日吉  
論教  
竹長 孝祐

これまでいろいろな学校で講師をさせていただき、多くの先生方からご指導をいただきました。「こんな先生になりたい。」という憧れを抱きながら日々子どもたちと全力で向き合っていました。

その憧れを胸に、四月から日吉小学校での教員生活が始まりました。講師時代は、仕事と採用試験の勉強の両者に追われ忙しい毎日でしたが、今年度ほど忙しい毎日は経験したことがありませんでした。初任者研修に体育主任の仕事と、一学期も二学期も目が回るような忙しさでした。

もともと運動が苦手な私は、運動会や陸上大会の練習などで、多くの先生方にサポートしていただき、自分自身も勉強させていただきました。自分が子どもたちに何を

してあげられたのだろうか、正直反省をすることはばかりでした。

そんなある日、ある子どもが「先生サッカーうまい。」と声をかけてきました。昼休みに一緒にサッカーをしていた子でした。私は、子どもたちに、少しは憧れをもたれていいのかと感じました。

子どもたちはこれから将来の夢や希望に向かって勉強や運動にひたむきに励んでいきます。そんな子どもたちの、最も身近な存在である私は、子どもたち憧れの存在でありたいと思っています。

### 生徒の目線に立って



中前町大洲  
論教  
前田 麻里

教員になり、もうすぐ一年が経とうとしています。授業や学校行事、部活動などに一杯で、あつという間の一年でした。また、今まで生きてきた中で一番、喜怒哀楽が激しい一年でもありました。

日々、生徒と関わる中で、心から喜んだり、怒ったり、哀しんだり、楽しんだりすることは、本当にエネルギーが要りました。

途中、授業が思い通りにいかず、思い悩むこともありましたが、教材研究をし、綿密な計画を立てていても、目の前の生徒に合わせて授業を進めることができませんでした。

「生徒の目線に立つことが大切だ」とよく言われますが、その難しさを身にしみて感じました。特に、勉強が苦手な生徒の気持ちを理解することに苦労しました。

今でも、納得のいく授業はなかなかできません。しかし、生徒の様子をよく観察したり、勉強が苦手な生徒も活躍できる場面を作ったりするなど、以前より少し多くの工夫ができるようになりました。

これは先輩、経験豊富な先生方からの助言のおかげです。初任者としての日々も残りわずかですが、謙虚に学ぶことを忘れず、多くのことを吸収していきたいです。

ふるさとスケッチ

No.342

内子町石畳の弓削神社



喜多支部OB 山岡 丸子

私の生まれたふるさとにある弓削神社は、一三九六年、時の豪族河野通直の子孫が弓削島の弓削神社を勧請して祭神とし、神社を城に見立てて周りに池を築き「堀」とし、中央に橋を架けて神を祀ったと言われております。
ここは、時の流れの中で自分を見つめるひとときになり



ます。
また、ここは、ふるさとの景観を守ろうと頑張っています。
途中には、坂の上の雲のロケ地「田丸橋」、水車小屋のある「清流園」、東の「しだれ桜」などもあります。

ご冥福をお祈りします

Table with names and ages of deceased individuals, including 白石 裕邦様 (90歳), 宮内 静夫様 (86歳), 大山 輝雄様 (89歳), etc.

お知らせ

「俳画・水墨画教室」の開催について

平成二四年度の愛媛県教育会「俳画・水墨画教室」の会員(受講生)を募集しています。
教育会会員、会員でない方のどなたでも受講できます。

【実施日時】
毎月二回(第一・第三木曜日の午前10時~12時)
【講師】大倉可貴先生
【会場】エスポワール愛媛文教会館(松山市祝谷二一五二三三)

【会費】月一、八〇〇円
【体験、見学】
二月一六日、三月一日、一日ほか、実施日には体験受講や見学ができます。

【受講申込み・お問い合わせ】
愛媛県教育会情報文化部
(公)八九一九四五―二五二一
【申込み期限】平成二四年三月末(年度途中の入会についてはご相談ください。)



受講生の作品展(文教会館1階ロビー)

祝 受章おめでとございます

◇瑞宝双光章(高齢者叙勲)

- 久保田 弘様 88歳 元松山市立久枝小学校校長
村上海 輝男様 88歳 元新居浜市立川東中学校校長

はるやまカード会員ご入会のおすすめ

上記の制度にご加入いただきますと、紳士服はるやまで店頭価格より10%割引価格でご案内ができ、しかも金利不要月賦で給与支給日に県学校生活協へお支払いいただきます。(カード入金金無料)
《愛媛県下、紳士服はるやま各店舗でご利用になれます。》

ご入会のお申し込み及びお問い合わせは
愛媛県学校生活協同組合連合会
電話(089)925-0555
又は、郡市学校生活協同組合

学校生協ハウジング事業のご案内

学校生協がハウジングメーカーと提携することによって、学校生協組合員のライフスタイルを応援させていただきます

(学校生協提携メーカー11社)新築・マンション・リフォーム等
詳しくは、県学校生協ホームページをご覧ください

お問合せは
愛媛県学校生活協同組合連合会
電話(089)925-0555
又は、郡市学校生活協同組合